

成果の説明書

(氏名)	中村 匡克	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
(1) 研究成果			
・ 大学から研究奨励費を受け、高崎市の産業構造に関する調査・研究を進めてきた。データと予算の制約から、調査・研究はまだ途中段階にある。			
(2) 学会活動			
・ 日本地域政策学会の理事として、学会の発展のために発言し活動を行ってきた。また、同編集委員会の副委員長として、機関紙『日本地域政策研究』（年2号発行）の編集を担った。			
(3) 社会貢献			
・ 日本創生に関連して、吉岡町（群馬県）の吉岡町まち・ひと・しごと創生会議の座長を務め、吉岡町の人口ビジョンと総合戦略の企画・立案に貢献した。			
・ 日本創生に関連して、PHP 総合研究所と協力し、加賀市（石川県）における人口推計の作業を指導した。			
2 その他の事項			
(1) 講義・演習			
・ 受講生には毎回の講義で質問・感想を用紙に記入してもらい、後の講義においてリブレターとして配布した。			
・ 演習において、夏合宿を実施して長期休暇中の学生指導に取り組んだ。			
・ 演習において、ゼミ生を公共選択「学生の集い」（他大学とのプレゼン・討論）に参加し、演習の時間だけでは提供できない学生指導に取り組んだ。			
(2) 教務関連			
・ 教務委員会の副委員長として、新規開講科目2年目である「高崎市の課題と政策」において、講義をして頂く高崎市職員との調整など講義の運営に関する仕事をした。			
・ 教務委員会の副委員長として、大学が開催した授業担当者会議に参加し、非常勤の先生方にカリキュラムの説明と学部の方針について説明した。			
(3) 学会活動			
・ 日本計画行政学会学術賞選考委員会の幹事として、学術賞に関連する仕事を行ってきた。			
(4) 社会貢献			
・ 群馬県大規模小売店舗立地審議会の委員として、大規模小売店の新規開店等に関する申請について議論してきた。			

3 次年度以降の計画・抱負

研究に関しては、これまで取り組んできた研究内容をより深め、とりまとめる活動を行っていくと同時に、地域政策の基礎理論となるような考え方の整理を進めていきたい。

講義・演習に関しては、従来型の一方通行の講義スタイルからディスカッションを中心とした講義スタイルへの変更を図るとともに、学生からの質問・感想をリプライレターとして返す作業は引き続き行いたい。